

平成29年度福島県献血推進計画 実績（抜粋）

（平成30年3月末現在）

第1 平成29年度に献血により確保すべき血液の目標量

1 献血により確保すべき血液の目標量

(1) 需要見込量

平成29年度の輸血用血液製剤は赤血球製剤112,000単位、血漿製剤^{しょう}31,100単位、血小板製剤117,000単位が必要と見込まれる。

(2) 献血目標量

東北六県で必要とする血液（原料血漿^{しょう}を含む。）を各県で按分して確保するため、平成29年度に献血により本県において確保すべき血液の目標量を、200mL献血が528リットル、400mL献血が20,906リットル、血漿成分献血^{しょう}が3,611リットル、血小板成分献血が4,785リットルの計29,829リットルとする。

計画に対する実績（平成30年3月末現在） （前年同期比）

200mL献血：	594.40L	達成率	112.6%	対前年比	110.5%
400mL献血：	21,708.80L	達成率	103.8%	対前年比	99.1%
血漿成分献血：	3,748.31L	達成率	103.8%	対前年比	100.8%
血小板成分献血：	4,891.64L	達成率	102.2%	対前年比	97.3%
合 計：	30,943.15L	達成率	103.7%	対前年比	99.2%

原料血漿確保量：66,258.80L 達成率101.4% 対前年比 98.4%

* 原料血漿確保量及び達成率については、東北ブロックにおける実績

2 全血献血及び成分献血の実施方法

(1) 全血献血（200mL、400mL）

全血献血は、県内の各市町村を巡回する福島県赤十字血液センター（以下「血液センター」とする。）の移動採血車による確保を主体とする。血液センター（固定施設）においては、Rhマイナス型や緊急時の全血献血への対応と併せて、通常的全血献血、特に400mL献血の確保にも対応する。

計画に対する実績（平成30年3月末現在） （単位：L）

	移動採血車 (市 町 村)	血液センター	合 計
目 標	17,790	3,644	21,434
全血献血量	17,743.6	4,559.6	22,303.2
目標達成率	99.74%	125.13%	104.06%

第2 前節の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

1 献血に関する普及啓発活動の実施

(1) 献血推進キャンペーン等の実施

県は、特に必要性が高い400mL献血及び成分献血の推進及び普及のため、7月に「愛の血液助け合い運動」を、1月から2月までに「はたちの献血キャンペーン」を実施する他、血液の供給状況に応じて献血推進キャンペーン活動を緊急的に実施する。また、様々な広報手段を用いて、県民に献血への理解と協力を呼びかけるとともに献血場所を確保するため、関係者に必要な協力を求める。

愛の血液助け合い運動（7月1日から同月31日まで）

実施状況

- 県内13市において、街頭献血キャンペーンを次のとおり実施した。

(人)

月 日	市 名	献血者数	200mL	400mL
7月 2日 (日)	福島市	108	10	98
7月 9日 (日)	南相馬市	111	5	106
7月11日 (火)	白河市	140	16	124
7月12日 (水)	相馬市	79	5	74
7月16日 (日)	郡山市	67	7	60
7月16日 (日)	喜多方市	73	4	69
7月17日 (月)	本宮市	101	3	98
7月23日 (日)	二本松市	89	8	81
7月23日 (日)	会津若松市	74	0	74
7月23日 (日)	いわき市	176	10	166
7月28日 (金)	田村市	107	5	102
7月30日 (日)	須賀川市	95	4	91
7月31日 (月)	伊達市	181	2	179
計		1,401	79	1,322

はたちの献血キャンペーン（平成30年1月から同年2月まで）

実施状況

- 市町村等関係機関に対して、文書等による事業の協力依頼を行った。
- ポスターを市町村、高等学校、福島県献血推進協力会等に配布した。
- ラジオの県政広報番組や新聞を活用した広報を行った。

(2) 若年層の献血への理解を深めるための普及啓発

県、市町村及び血液センターは、地域の実情に応じて、若年層の献血への関心を高めるため、学校等に対して、ボランティア活動である献血について情報提供や学生献血推進ボランティア等の同世代からの働きかけの支援を行う。

実施状況

- 平成29年7月6日に開催された県立学校長会議（県立高等学校長及び県立特別支援学校長）において、県及び血液センターから、献血の現状と若年層への献血推進の重要性を説明し、献血に触れ合う機会等への協力を依頼した。
- 平成29年9月8日（県南地区）、12日（県北地区）、13日（県中地区）に開催された健康教育推進者研修会（小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の養護教諭）において、昼食時間を活用し、血液センターから献血についての説明と、各学校における献血セミナー開催のお願いをした。
また、「ありがとう！っていっぱい言わせて（アンパンマンのエキス）～小児ガンの男の子の闘病記録～」DVD上映を行った。

2 献血功労等の顕彰

(1) 県は、献血事業に功労のあった団体又は個人に対して福島県知事感謝状を贈呈する。

実施状況

- 平成29年10月18日に杉妻会館で行われた平成29年度健康ふくしま21推進県民表彰式において、献血事業功労知事感謝状を12団体に贈呈した。
 - 株式会社ヨークベニマル二本松インター店（二本松市）
 - 株式会社野地組（二本松市）
 - 夢みなみ農業協同組合あぶくま石川地区支援センター（石川町）
 - 石川町役場（石川町）
 - 東洋シャフト株式会社福島工場（石川町）
 - 石川町建設協力会（石川町）
 - 株式会社ニッセイ福島工場（浅川町）
 - 日本伸管株式会社白河工場（西郷村）
 - 独立行政法人家畜改良センター（西郷村）
 - 株式会社東北入谷まちづくり建設坂下本社（会津坂下町）

1 1	一般財団法人郡山美容協会	(郡山市)
-----	--------------	-------

1 2	社団医療法人養生会かしま病院	(いわき市)
-----	----------------	--------

(2) 県は、各市町村の協力を得て、国が開催する献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰等に対し、積極的に該当団体等を推薦する。

・ 第53回献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰状候補者として2団体、同感謝状候補者として8団体を推薦し、受賞した。

なお、平成29年7月27日に福島県赤十字血液センターにおいて表彰状等の伝達式を行った。

1 厚生労働大臣表彰状 (2団体)

学校法人	郡山学院	(郡山市)
------	------	-------

株式会社	ラジオ福島	(福島市)
------	-------	-------

2 厚生労働大臣感謝状 (8団体)

株式会社	フジ電科福島第一工場	(須賀川市)
------	------------	--------

月電工業株式会社	船引工場	(田村市)
----------	------	-------

昭和電工株式会社	東長原事業所	(会津若松市)
----------	--------	---------

竹田総合病院		(会津若松市)
--------	--	---------

東京電力株式会社	相双営業所	(南相馬市)
----------	-------	--------

東北電力株式会社	総合研修センター	(南相馬市)
----------	----------	--------

クラリオンマニュファクチャリングアンドサービス株式会社		(郡山市)
-----------------------------	--	-------

一般社団法人	いわき市薬剤師会	(いわき市)
--------	----------	--------